

令和7年度病床機能報告における 非稼働病床等の状況について

非稼働病棟等への対応について

令和7年度病床機能報告における非稼働病棟等の状況を確認

① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

- ・ 病床機能報告の結果等から、病床が全て稼働していない病棟※を有する医療機関を把握した場合には、以下の説明を求めること。
 - ①病棟を稼働していない理由
 - ②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画

※ 病床が全て稼働していない病棟とは、過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟

② 過剰な病床機能に転換しようとする医療機関

- ・ 病床機能報告の結果等から、過剰な病床機能に転換しようとする医療機関の計画を把握した場合には、病床機能を転換する理由について説明を求めること。

③ 急性期医療を提供していない病棟を有する医療機関

- ・ 高度急性期又は急性期と報告した病棟のうち、急性期医療を全く提供していない病棟については、その妥当性を確認すること。

非稼働病棟等の状況について

① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

圏域	医療機関名	病棟名	医療機能※1	最大使用病床数が0※2	病棟を稼働していない理由	今後の運用見直しに関する計画
中濃	岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院	3階東病棟 (地域包括ケア) (44床)	休棟棟 再開予定		主に下記の2点に起因するものです。 「看護職員の確保困難（人材不足）」 当院では、慢性的な看護職員不足が継続しており、現在も採用・確保に努めておりますが、必要十分な看護要員を維持することが極めて困難な状況にあります。 「病床利用率の推移」 病院全体の病床利用率は低下傾向にあり、当該病棟における対象患者数も減少しております。また、近隣には「地域包括ケア病棟」・「回復期リハビリテーション病棟」を運営している医療機関があり、連携による機能分化が可能です。	現在もなお看護師不足の状況が継続しており、現時点において具体的な再開時期および明確な計画を策定するに至っておりません。
中濃	中部国際医療センター	5East (46床)	急性期	○	当院は、医療措置協定に基づく「第一種協定指定医療機関」「第二種協定指定医療機関」に指定されており、新興感染症発生時の患者受け入れ体制を整備するため、報告対象期間中（令和6年4月1日から令和7年3月31日）、5East病棟を「新興感染症対応病棟」へと転換するための全面改修工事を実施しました（感染拡大防止のためのゾーニングおよび個室管理能力の向上、高流量酸素療法への対応能力強化、感染症に罹患した透析患者などハイリスクな患者の治療を安全に行える環境の整備といった、感染症医療に特化した高度な機能の整備）。そのため、全面改修工事を実施していた報告対象期間中における最大使用病床数は0床となっています。	改修工事が終了した令和7年5月より、5East病棟46床中、23床を再稼働させました。令和8年5月からは、5East病棟46床全てを稼働させ運用しています。
中濃	独立行政法人地域医療機能推進機構 可児とうのう病院	西3病棟 (36床)	休棟棟 再開予定	○	医師、看護師の不足のため	医師、看護師の充足の状況により再稼働を検討します。
中濃	医療法人社団慶桜会 東可児病院	3階一般病棟 (29床)	休棟棟 再開予定	○	新型コロナ感染拡大後に外来及び入院患者の減少により、旧棟52床を休床している。 その後、新棟3階、4階、5階病棟で急性期99床稼働していたが、看護師及び看護助手の離職により、令和7年12月より60床に減少した。また、更に看護師の離職があり、令和8年3月より1病棟43床の稼働となっている。	看護師、看護助手の人員確保が進んでおり、今年度中に新棟2病棟99床で稼働できる見通しとなっている。 また、今後は、回復期リハ病棟28床、介護療養病棟19床の開設を計画している。
		療養病棟 (60床)	休棟棟 再開予定	○		

※1 令和7年7月1日時点

※2 令和6年4月1日から令和7年3月31日までの期間

非稼働病棟等の状況について

① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

圏域	医療機関名	病棟名	医療機能※1	最大使用病床数が0※2	病棟を稼働していない理由	今後の運用見直しに関する計画
中濃	社会医療法人 白鳳会 鷺見病院	4 階病棟 (41床)	急性期	○	急性期：72床（3階病棟60床 4階病棟12床） 4階病棟についてはコロナ感染症病棟として運用していた コロナ感染症が落ち着いた後も新型インフル・指定感染症等に対応できるよう運用している 稼働状況 最大使用病床が0について 新型インフル等、指定感染症患者の4階病棟への入院がなかったため	コロナ感染症終息後、平時での医療需要数、郡上市の人口減少を鑑みると病床の返還を考慮 岐阜県との医療措置協定3床～5床（新型インフル・指定感染症）の病床確保については3階病棟で対応可能

※1 令和7年7月1日時点

※2 令和6年4月1日から令和7年3月31日までの期間

② 過剰な病床機能に転換しようとする医療機関

各医療機関の対応方針（資料3－2）の中で言及します。

③ 急性期医療を提供していない病棟を有する医療機関

該当なし